

CASBEE札幌(暫定版)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	医療法人愛全会 愛全病院整備計画	階数	地上5F,地下1F	「配慮シート」に 外観パースを張り付けて下さい。
建設地	札幌市南区川沿13条2丁目	構造	RC造	
用途地域	第1種住居地域 防火指定なし	平均居住人員	700 人	
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	基本設計段階評価	
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2014年10月8日	
敷地面積	11,967 m ²	作成者	佐藤	
建築面積	3,218 m ²	確認日		
延床面積	15,234 m ²	確認者		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>= BEE1.9</p> <p>★:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C:★★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>★:100%超 ☆☆:100% ☆☆☆:80% ☆☆☆☆:60% ☆☆☆☆☆:30%</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 3.7</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.4</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 4.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.9</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民に愛され、信頼され、親しまれる病院 将来にわたってフレキシブルに使っていただける病院 省エネルギーと災害に強い病院 	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>W (Global Warming) 省エネルギー・省資源</p> <p>建築: 2重サッシ、ペアガラスにより断熱性能を高めます 設備: ランニングコスト、省エネ性を考慮し、ガスヒートポンプパッケージエアコンを採用します。 電気: LED照明を採用します。</p>	<p>G (Green) 緑化</p> <p>既存の樹木を可能な限り伐採せず、移植し、活用する。</p>	<p>S (Snow) 雪処理</p> <p>省エネのため、ロードヒーティングを実施する面積を最小限に設定し、重機での除雪対応を基本とする。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される